

平成26年度 事業報告書

平成27年5月9日
特定非営利活動法人地域人ネットワーク
代表理事 白瀧 康次
電話番号 048-689-0905

1. 事業の成果

当法人の目的は、会員が有する経験や知識・能力を生かして、団体として地域の課題に取り組み、地域の発展に寄与することによって、会員の「生きがい」と健康で自立性のある生活を創ることにある。

定款に定めた5事業のうち、平成17年の創設以来進めているパソコン教育や地域の情報交流を高める事業、並びに見沼たんぼの環境保全に視点を置いた青少年育成事業は、長年の成果により更に地域に固い基盤と信頼を築き、行政当局からも厚い信頼と期待を寄せられている。

これらの事業に対応した当法人の正会員数は平成26年度末で29名（男性20名、女性9名）である。

以下に事業毎に報告する。

1) 情報化社会に向けてのパソコン教育に関する事業

「パソコン相談サロン」は個人別パソコン無料相談会である。毎月1回見沼区内4公民館を巡回する定例行事として定着し、当年度は延べ142名の相談に応じた。平成17年4月の開設以来10年間では延べ1,350名の相談者に対応して来た。

パソコンやITの急進展に戸惑う高齢者市民を主な対象者としており、貴重なボランティア奉仕事業と高く評価されている。特に公民館には縁遠い70歳以上の男性の来訪者が多いことが注目されている。

「パソコン講座」では、コミュニティセンターが主催した年間3回36時間の講座を実施した。教材をその都度身近な題材を中心にしたカラー版の解りやすい独自のものを作成・提供した。講座では多くのアシスタントを配置し、初歩者・高齢者の理解度向上のために丁寧な対応を行った。

自主事業の「パソコン楽しみサロン」は、シニアや主婦層のニーズを取り入れたサロン風の会員制パソコン入門講座である。受講者が自分のパソコンを持込んで受講するので、慣れたパソコン環境で学習でき、自宅での復習も行ない易いというメリットがある。前述の講座と同様、独自教材を使用し、多くのアシスタントを配している。平成26年度は受講希望者が増加し午前の部、午後の部合わせて会員数最大37名で運営した。

2) 地域の活性化に向けて情報交流を高めるための事業

地域の各種団体のホームページの更新及び維持管理を支援することにより地域の情報交流を高め地域の活性化を図ることを目的として事業を展開している。平成26年度は前年度に引き続き4団体のホームページを対象として支援活動を行なった。

3) 地域ニーズに適合した人材を発掘し活用する事業

常時会員の募集を行ない、NPO 法人としての活動継続に必要な人材の確保に努めている。

4) まちづくりに関する提案および協働事業

まちづくりや協働事業にNPO法人として委員派遣や参加等で事業に協力した。

- ・見沼区区民会議及び市民活動ネットワーク
- ・見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク
- ・未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会
- ・コミュニティセンター地域協議会（七里コミュニティセンター）
- ・見沼区区民フェア参加及び出展
- ・東大宮アートフェスティバル実行委員会
- ・さいたま市市民活動推進委員会

特に、平成26年度は「未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会」の活動がユネスコ日本委員会の未来遺産として認定を受け、当NPOも参加20団体・機関（17民間団体、3教育機関）の一つとしてその栄に浴した。

また、見沼たんぼの新たな交流の場づくりの試みとしてさぎ山記念公園において開催された「みぬま春フェス」および「みぬま秋フェス」にも積極的に参加した。

なお、年度初めに構想した見沼代用水東縁を利用したカヌー事業については、用水路利用の見通しが得られなかったため初期の段階で計画を中止した。

5) 地域子ども教室等青少年育成支援事業

見沼たんぼの環境保全活動の一環として、埼玉県の見沼たんぼ公有地利活用事業に「見沼たんぼ菜の花農業体験教室」として平成20年度から参画し、埼玉県の公有地を行政に代わって保全管理しながら、公募した県民が見沼たんぼの自然に接し農業の体験ができる事業を展開してきた。具体的には、当年度も農業体験教室を8回開催し、年間を通してナタネ及び野菜づくりの農作業と農地の管理保全を行った。

当年度は延べ309名（うち、子ども158名）が体験教室に参加した。平成20年以前の子ども教室開設以降では、87回の教室を開催し、延べ3,605名（うち、子ども1,927名）の参加があった。

なお、事業を推進するため平成26年度の体験教室の支援と日常の田畑の保守管理に従事した人数は延べ423人であった。

2. 事業の実施に関する事項（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施時期・頻度	実施場所	従事者の人数	受益対象者 範囲 人数		支出額 (千円)
情報化社会に向けてのパソコン教育に関する事業	パソコン相談サロン	4月より3月 まで月当たり1 回	見沼区内 公民館	延べ73名	見沼区 内シニア・主婦	延べ 142名	370
	パソコン講座	5月より11月 まで1日分講 座を1回とし て6回	コミュニ ティセン ター	延べ34名	さいたま 市内	118名	
	パソコン楽しみサロン	4月より3月 まで半日単位 で24回	コミュニ ティセン ター	延べ162 名	さいたま 市内	延べ 432 名	
地域の活性化に向けて情報交流を高めるための事業	各種ホームページの更新保守管理	全期間、適時	事務所他	延べ60名	見沼区内 市民	不特定	
まちづくり提案と協働事業	区民会議への委員派遣と市民活動ネットワークへの参画	4月より3月 まで	見沼区、 さいたま 市	延べ20名	さいたま 市、見沼 区	不特定	25
	見沼区区民フェア等への参画	4月より3月 まで	見沼区、 さいたま 市	延べ25名	さいたま 市、見沼 区	不特定	
	東大宮アートフェスティバル実行委員会事務局	10月より3月 まで	見沼区	延べ5名	見沼区民	不特定	
地域子ども教室等青少年育成支援事業	見沼たんぼ菜の花農業体験教室（埼玉県委託事業）	5月より3月 迄8回および 全期間にわた り畑管理	見沼たん ぼ	延べ116 名（委託 事業全体 で延べ 423名）	埼玉県県 民	延べ 309名	540